



令和五年 神無月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和5年11月1日発行

「心を潤す4つの言葉」推進週間が始まります。

校長 和田 卓也

ようやく、朝晩がめっきり寒くなるなど、1日の寒暖差が大きくなってきた今日この頃…その影響もあってか、校内においては、インフルエンザを含めた体調不良を訴える生徒が多い状況となっております。まずは、健康第一…皆様、ご自愛ください。

さて、最近、改めて感じることとして、「よく挨拶をする生徒さんが多いですね。」というお言葉を頂く機会が多くなったような気がしております。先日も来校された方から、「恥ずかしそうにしながら、でも、自分から挨拶をしてくれた女子生徒の方がいました。頑張っ



最高の仲間（駅伝部より）

挨拶しようという気持ちも伝わってきて、とてもいい気持ちになりました。生徒の皆さん…素敵ですね。」とお褒めのお言葉をいただきました。とてもうれしい限りです。

挨拶については、これまで、①見えない心を伝えることのできるとても大切な行為であること ②相手の存在を認める(大切に)する行為であること ③一番最初の大切なコミュニケーション(スキル)であること ④「挨拶の溢れる学校」は、「安心・安全な学校」につながること 等について話してきました。今回の機会に、再度、挨拶の大切さについて再確認するとともに、「心を潤す4つの言葉」や「心を元気にする4つの言葉」(裏面参照)についても、子どもたちが考える機会をつくっていく予定です。是非、地域や家庭においてもその趣旨をご理解いただき、大人の率先垂範(まず大人が手本となる姿を見せる)のもと、推進・啓発にご協力いただきますようご協力をお願いいたします。

全国学力・学習状況の結果から

今年度実施(4月18日)したの「全国学力・学習状況調査(3年生対象)」の調査結果が届きました。今年度は、国語、数学、英語の3教科と「学習や生活習慣等に関する質問(アンケート)」についての調査が行われ、その調査結果をもとに、取組の成果の確認や課題の分析を行っております。

ちなみに、学力については、昨年度の調査結果等をもとに、授業改善等に取り組んだこともあり、3教科共にその成果が感じられたところではありますが、その中でも特に数学において、昨年度比で良好な結果が見られました。また、3教科共通の課題としては、基本的な知識の定着が不十分な生徒や、無回答率は下がった(改善しつつある)ものの、まだまだ自分の言葉で表現することを苦手とする生徒が多い状況が見られます。この点を踏まえ、更なる授業改善に向けた取組を進める予定です。

また、「学習や生活習慣等に関する質問」については、肯定的な回答が全国・埼玉県の平均より大きく上回るものとして、「先生はあなたの良いところを認めてくれる。」「先生は、分からないところをわかるまで教えてくれる。」「人が困っているときには進んで助ける」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という項目が挙げられました。日頃より良好な人間関係(信頼関係)を感じていたところですので、納得の結果だと思えます。「自分で計画を立てて勉強をする」等、主体性の面で課題が見られますが、今後、本校の「自律 進取」というキャッチフレーズとの関連を図りながら、様々な面で教育活動全体の「見直し改善」に着手してまいります。